

## 市民版環境配慮指針の普及拡大(環境家計簿の推進)

市民・事業者  
環境家計簿を実践

市  
普及

家庭や職場での日々の省エネ行動が、地球温暖化対策の大きな一歩となります。また、省エネに取り組むことは、地球温暖化対策に貢献するだけでなく、光熱水費等の節約にもつながります。

みんなで無理なく小平流エコライフを楽しんで実践していくため、市民版環境配慮指針の普及を進めるとともに、WEB版環境家計簿の参加者を増やします。

### WEB版環境家計簿の取組実績

環境家計簿に取り組んでいる世帯の平成26年度全体の二酸化炭素排出量は294,894kg-CO<sub>2</sub>で、前年度(平成25年度)の312,730kg-CO<sub>2</sub>から17,836kg-CO<sub>2</sub>(※)削減しました。(※杉の木約1,274本が吸収する量に相当します。杉の木の二酸化炭素吸収量:14kg/年・本(林野庁HPを参考))

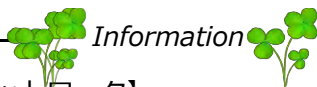
また、環境家計簿推進イベントとして、平成26年7月から12月までの6か月間を「省エネキャンペーン」期間として、「前年より電気とガスの二酸化炭素排出量を5%以上削減！」を目標に省エネに取り組み、28家庭が目標を達成し、表彰を行いました。

### 目標値

|                      |          |           |
|----------------------|----------|-----------|
| 成果指標                 | 平成26年度実績 | 平成32年度までに |
| WEB版環境家計簿の参加世帯(事業所)数 | 448件     | 922件      |

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 件      | 件      | 件      | 件      | 件      | 件      |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【エコダイラネットワーク】

エコダイラネットワークとは、平成14年に市が策定した「小平市環境基本計画」に基づき、市民生活や事業活動における環境配慮行動に関する提案書である「市民版環境配慮指針」を作成するために、公募で集まった市民のグループです。

市民版環境配慮指針に基づいて、環境家計簿の普及啓発や環境学習の企画運営、環境カレンダーの作成、市主催の環境イベントに出展するなど、小平市の環境、ひいては地球環境を良くしていきたいという思いで、市と協働して様々な実践活動を行っています。

いつでも誰でも参加できる緩やかなつながりですが、環境への思いは地球規模です。

このような思いが実を結び、平成27年には、エコダイラネットワークが主体で普及啓発を進める環境家計簿の取組が環境省から表彰されました。

(第3回グッドライフアワード 実行委員会特別賞受賞)



市のイベントで「市民版環境配慮指針」

の普及啓発活動を行うエコダイラネットワーク



WEB版環境家計簿

「楽しく省エネ！ECOダイラー暮らし宣言」



第3回グッドライフアワード

実行委員会特別賞受賞

## 緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出

市民・事業者・市  
 緑のカーテンを実践

建物の窓や壁につる性植物(ゴーヤ、アサガオなど)を植栽すると緑のカーテンとなり、夏の日差しをやわらげてくれるだけでなく、室温の上昇を抑える効果もあり、省エネにも貢献します。また、街の身近な緑の創出にもつながります。この緑のカーテンを市全体で取り組んでいくため、公共施設に率先して設置する他、緑のカーテン講習会の開催や緑のカーテン用の種や苗の配布などにより、市民・事業者にも取組を普及啓発します。

### 緑のカーテン涼しさの3つの理由(環境省HPを参考)

- ①十分に葉が茂った緑のカーテンは、日射しの熱エネルギーの約80%をカットする遮蔽効果があります。
- ②緑のカーテンは日陰をつくるだけでなく、葉の蒸散作用で室内への放射熱も抑えてくれます。
- ③緑のカーテンで壁や地面を日射しから遮ることで、放射熱の発生と侵入を効果的に抑えることができます。



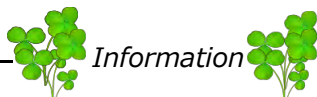
平成27年度「緑のカーテン講習会」

### 目標値

|                       |          |           |
|-----------------------|----------|-----------|
| 成果指標                  | 平成26年度実績 | 平成28~32年度 |
| 公共施設における<br>緑のカーテン設置数 | 53施設     | 60施設/毎年   |

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     |
| 達成率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【クールビズ・ウォームビズ、クールシェア・ウォームシェア】

環境省では、毎年5月1日から10月31日の間は、室温28℃で快適に過ごすライフスタイルとして「クールビズ」を、11月1日から3月31日の間は、室温20℃で快適に過ごすライフスタイルとして「ウォームビズ」を推奨しています。

また、一人ひとりが冷暖房を使うのではなく、家族やご近所で一つの部屋に集まったり、冷暖房を止めて街に出かけたり、みんなで涼しいところや暖かいところ集まる「クールシェア」や「ウォームシェア」も呼び掛けています。

みんなで集まることで、涼しさや暖かさだけでなく、楽しさや、嬉しさもシェアできる上、みんなが冷暖房を止めて街に出かけることで街の活性化にもつながります。

小平市の公共施設においても、職員のクールビズ、ウォームビズの実践や市民の皆さんへの呼びかけにより、室温の適正化を図っています。特に7月から9月までの間は、平成22年度比で15%以上の使用電力総量の抑制を行うという数値目標を設定し、過度な節電による健康被害をもたらさないよう、十分に配慮しながら、施設の特성에応じたきめ細やかな節電対策を実施しています。



市民版環境配慮指針「小平流 暮らしの工夫」でも、小平市のクールシェア・ウォームシェアスポットを紹介しています。

#### 自然でクールシェア



出典：環境省HP



平成27年度、小平市の熱中症予防に対する取組が環境省から表彰されました。

## 公立学校給食や市民への地産地消の推進

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 市民・事業者<br>地場産農産物を購入 | 市<br>普及 |
|---------------------|---------|

地産地消の取組は、食物の生産地と消費地が近いということで輸送に係るエネルギーが少なく済むため、地球温暖化防止につながる取組です。

市立の保育園や小中学校の給食では小平産の農産物の利用を進め、地場野菜を利用することが環境にもやさしいことを学び、食育を通じた環境教育を推進します。

### 小学校給食から出る生ごみの有効利用

市立の全小学校に乾燥型生ごみ処理機を設置し、給食から出る生ごみを一次処理した後、学校農園等で利用するなど、資源の有効活用を図っています。

平成26年度の一時処理物の利用実績は、学校農園や花壇で利用(4校)、学校授業で活用(4校)、学校公開や試食会等で保護者に提供(1校)、給食用野菜納入農家に提供(2校)、農家に提供(2校)、市民に提供(6校)、残渣引き取り業者に引き渡し(14校)となっています。

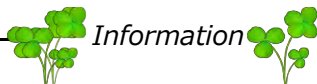
自分たちの食べたものから出た生ごみの一部が、畑の肥料として使われ、農産物としてまた給食に戻ってくるという地域の循環の輪ができることで、「大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会」から「循環型社会」への変革の必要性を学ぶことができます。

### 目標値

|                     |          |           |
|---------------------|----------|-----------|
| 成果指標                | 平成26年度実績 | 平成32年度までに |
| 小学校給食における地場産農産物の納入率 | 22.1%    | 25%以上     |

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【小平の農業】

「畑からまっしぐら」をキャッチコピーに、新鮮で安全・安心な野菜や果物、そして目を楽しませてくれる花や植木など、さまざまな農産物が市内で盛んに生産されています。中でもブルーベリーは栽培発祥の地でもあり、特産品の一つとして有名です。また、梨のもぎ取り、ブルーベリーや花の摘み取りなど、収穫体験ができる農園があることも特徴の一つです。

#### 【小平市内の直売農家】

市内には、畑や庭先などで直売を行っている農家がたくさんあります。採れたての野菜や果物などが、新鮮で安心して手に入ります。季節や農家によってバラエティ豊かにとりそろえていますので、まずは一度、気軽に近所の直売農家を訪ねてみてください。農家の方との楽しい出会いが待っています。

#### 【JA東京むさし 小平ファーマーズ・マーケット】

朝どりの新鮮な野菜をはじめとして、季節の果物や花、植木などをバラエティ豊かに取り揃えています。地元産の珍しい農作物との出会いも期待できます。ちょっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



JA東京むさし 小平ファーマーズ・マーケットは平成28年秋にリニューアルオープンします。

## バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化

|                    |    |
|--------------------|----|
| 市民・事業者             | 市  |
| 生ごみの堆肥化・廃食用油のリサイクル | 普及 |

小平市一般廃棄物処理基本計画では、「こつこつ小平『もったいない』が根づくまち」を基本理念として、循環型社会(天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会)への変革に向けて、3R(廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用)の推進等の施策を進めることとしています。

食物資源(生ごみ)や廃食用油などのリサイクルをはじめとする3Rの取組を進めることによって、資源の有効利用とごみ処理量の削減を図ります。

### バイオマスの利用

家畜の排せつ物や生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことをバイオマスといいます。(農林水産省HPから引用)

市では、食物資源(生ごみ)の堆肥化や廃食用油のリサイクルなど、市民・事業者との協働でバイオマスの利用に取り組んでいます。

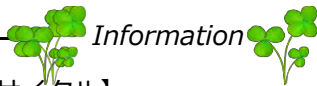
### 目標値

|                      |          |                     |
|----------------------|----------|---------------------|
| 成果指標                 | 平成26年度実績 | 平成32年度までに           |
| 食物資源循環モデル事業における参加世帯数 | 761世帯    | 平成28年度で<br>1,000世帯※ |

※食物資源循環モデル事業は、ご家庭(3世帯以上のグループで参加)の生ごみを回収して堆肥としてリサイクルする事業で、平成22年度から実施しています。平成28年度までに1,000世帯の参加を目標として実施し、並行して、より良い食物資源のリサイクルの手法を検討することとしています。

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 世帯     | 世帯     | 世帯     | 世帯     | 世帯     | 世帯     |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

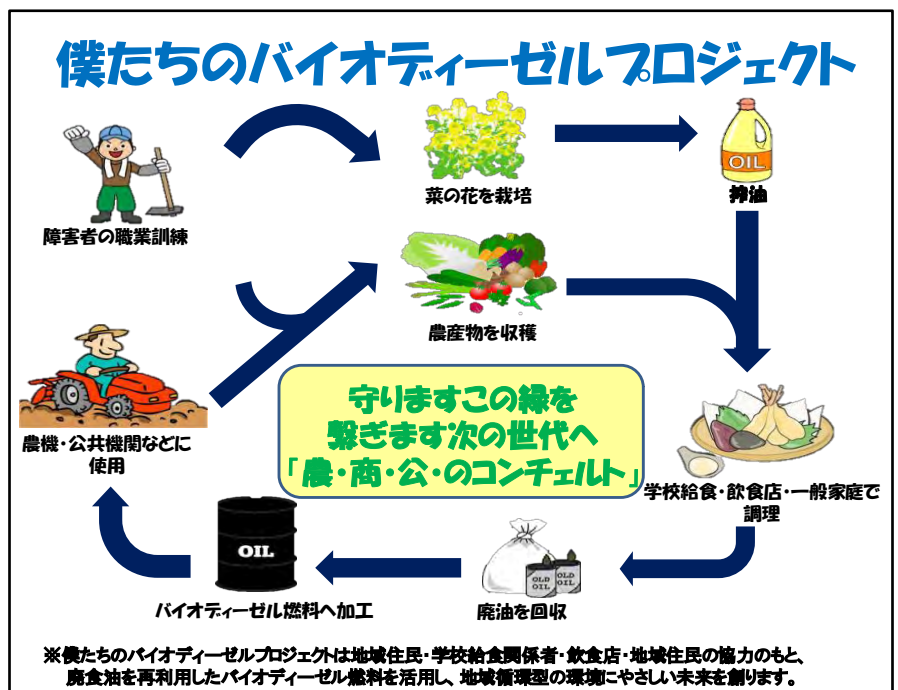
#### 【廃食用油のリサイクル】

JA東京むさし小平地区青壮年部と小平商工会青年部の協働で、「僕たちのバイオディーゼルプロジェクト」が進められています。このプロジェクトは現在は試行段階で、学校給食や市内飲食店から回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料に加工した後、農業用トラクターの燃料として活用しています。今後の実用化に向けて、取組が進められています。



JA東京むさし小平地区青壮年部による  
小平第七小学校での出前授業

資料提供：JA東京むさし小平地区青壮年部



## 公共施設への太陽光発電システムの導入

|                 |    |
|-----------------|----|
| 市民・事業者          | 市  |
| 太陽光発電に対する理解を深める | 導入 |

小平市は平らな地形である地域特性を活かし、自然の恵みである太陽エネルギーを最大限利用するため、市民・事業者・市民団体・市が一体となって「太陽光発電日本一プロジェクト」を進めています。

市の公共施設には計画的に太陽光発電システムを導入し、エネルギーの地産地消を推進するとともに、太陽光発電システムを普及する地域のシンボリックな役割を果たします。

### 太陽光発電システム導入済施設(平成27年3月末現在)

| 設置年度   | 施設名              | 発電出力 | 設置年度     | 施設名              | 発電出力  |
|--------|------------------|------|----------|------------------|-------|
| 平成13年度 | 花小金井南地域センター・児童館  | 4kW  | 平成22年度   | 健康センター           | 10kW  |
| 平成14年度 | 大沼保育園            | 4kW  |          | 小平第一小学校          | 20kW  |
| 平成18年度 | 小川町二丁目地域センター・児童館 | 4kW  |          | 小平第十三小学校         | 20kW  |
|        | 東部市民センター         | 6kW  | 花小金井南中学校 | 5kW              |       |
| 平成21年度 | 市庁舎              | 10kW | 平成24年度   | 消防団第三分団詰所        | 1.8kW |
|        | 花小金井小学校          | 10kW |          | 小平第五小学校          | 10kW  |
|        | 子どもキャンプ場トイレ      | 2kW  |          | 小川町一丁目地域センター・児童館 | 30kW  |
| 平成22年度 | 小平第九小学校          | 20kW | 平成25年度   | 中央図書館            | 20kW  |
|        | 小平第十二小学校         | 20kW |          | 小平第四小学校          | 20kW  |
|        | 学園東小学校           | 20kW | 平成26年度   | 小平元気村おがわ東        | 16kW  |
|        | 小平第一中学校          | 20kW |          | 東部公園プール管理棟       | 8kW   |
|        | 小平第二中学校          | 20kW |          | なかまちテラス          | 5kW   |

平成27年3月末までに累計24施設、総発電出力305.8kWの設備が設置されました。

平成26年度の総発電電力量は381,170kWhで、二酸化炭素の年間排出量を142,558kg-CO2(※)削減しました。

※二酸化炭素排出係数を第二次エコダイヤラ・オフィス計画の基準年度である平成17年度の0.374kg-CO2/kWhで計算しています。

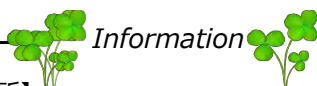
### 目標値

|                    |          |           |
|--------------------|----------|-----------|
| 成果指標               | 平成26年度実績 | 平成32年度までに |
| 公共施設への太陽光発電システム設置数 | 累計24施設   | 累計50施設    |

※電気を使用し、かつ建物がある施設(公園等を除く)は約110施設です。これらのうち、新耐震基準を満たしているなど、現時点で太陽光発電設備導入の可能性がある施設22施設について、今年度調査を実施しました。調査の概要は、28ページに記載しています。目標値である50施設は、導入の可能性がある全ての施設に太陽光発電設備を設置することで実現する数値です。

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     | 施設     |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【市民共同発電所】

小平市では、地域社会に根ざした再生可能エネルギーによる、地域のエネルギーの自給自足の実現をめざすグループであるNPO法人こだいらソーラーが、市民からの出資を募り、太陽光発電による市民共同発電所の設置の取組を進めています。小平市では、土地面積などの関係から、発電量や設置容量での日本一は難しいのが現状ですが、太陽光の活用に取り組む人の数での日本一を目指したいと考えています。こうしたことから、この取組は、市の太陽光発電日本一プロジェクトを推進するものです。平成28年3月時点で、市民共同発電所は市内で3機が稼働しています。

・・・こだいらソーラー市民共同発電所のしくみ・・・

- ①市民が資金を出し合って、事業所の敷地などを利用して太陽光発電システムを設置します。
- ②発電した電気は電力会社に売電し、地域の電気の一部として使われます。
- ③売電収入から出資金を返還します。
- ④停電時には、非常用電源として利用します。



市民共同発電所第1号機

## 市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成

|             |    |
|-------------|----|
| 市民・事業者      | 市  |
| 助成制度を利用して導入 | 助成 |

市では、市民・事業者に対して、太陽光発電システム及びエネファーム(家庭用燃料電池)を設置する際の費用の一部を助成することによりその設置を推進し、業務部門・家庭部門でのエネルギー消費量の削減を図る取組を実施しています。

### 太陽光発電システム、エネファームのCO2削減効果

- 太陽光発電システム：一般家庭の年間の二酸化炭素削減量は1,100kgとなります。  
 $314.5\text{kg}(\times) \times 3.5\text{kW}$  (一般家庭の平均出力) = 1,100kg  
※結晶系シリコン太陽電池によるCO2削減効果は1kWシステム当たり年間で314.5kg(JPEA太陽光発電協会資料を参考)
- エネファーム：一般家庭の年間の二酸化炭素削減量は1,330kgとなります。(FCA燃料電池普及促進協会資料を参考)

### 目標値

|                       |          |           |
|-----------------------|----------|-----------|
| 成果指標                  | 平成26年度実績 | 平成32年度までに |
| 市民・事業者への太陽光発電システム助成件数 | 累計897件   | 累計1,845件  |

※エネファームの平成26年度実績は累計227件

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 件      | 件      | 件      | 件      | 件      | 件      |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【小平市内の再生可能エネルギー発電設備の導入状況】

市内で、固定価格買取制度を利用している太陽光発電設備は2,017件で、総発電出力は8,357kWです。  
 (平成27年8月末時点の状況)

これらの太陽光発電設備によって発電される電力量は年間で約8,357,000kWh(※1)で、約2,321世帯分(※2)の年間電気使用量と同量になります。

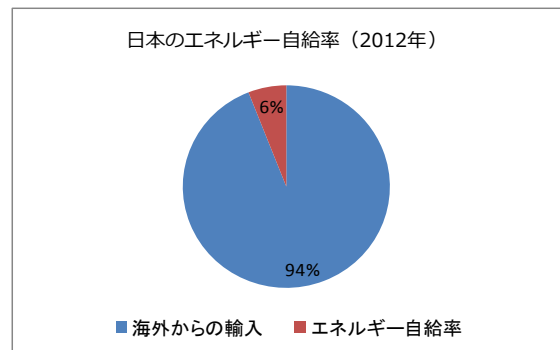
※1 太陽光発電1kWの年間発電量を1,000kWhで算定

※2 一世帯の1か月あたりの電力消費量を300kWh(年間3,600kWh)として算定(電気事業連合会資料)

#### 小平市内の再生可能エネルギー発電設備の導入状況

|           |        | 導入件数(件) | 導入量(kW) |
|-----------|--------|---------|---------|
| 太陽光発電設備   | 10kW未満 | 1,921   | 6,722   |
|           | 10kW以上 | 96      | 1,635   |
| 風力発電設備    |        | 0       | 0       |
| 水力発電設備    |        | 0       | 0       |
| 地熱発電設備    |        | 0       | 0       |
| バイオマス発電設備 |        | 0       | 0       |
| 合計        |        | 2,017   | 8,357   |

出典：固定価格買取制度情報公開用ウェブサイト「再生可能エネルギー発電設備の導入状況等について」(平成27年12月18日更新)をもとに作成



経済産業省「エネルギー白書2014」(図211-4-1)をもとに作成

2012年の日本のエネルギー自給率は6%でした。しかし、日本にも太陽や風、水、森林をはじめとする自然のなかにある豊富な再生可能エネルギー資源があります。再生可能エネルギーの有効活用が、地域のエネルギーの自給自足につながります。

## 市民植樹事業の普及拡大

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 市民・事業者<br>身近な場所への植樹 | 市<br>普及 |
|---------------------|---------|

次世代を担う子どもたちに小平の緑を引き継ぐため、市内のあらゆる場所(公共施設、学校、公園などの空きスペース)に緑を創出します。

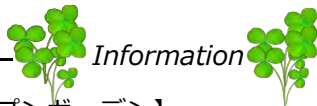
こだいらグリーンフェスティバル等のイベント時には、市民のみなさまに低木用苗木を配布し、自宅の庭などに植樹していただくことで緑の増加を図ります。

### 目標値

|        |          |           |
|--------|----------|-----------|
| 成果指標   | 平成26年度実績 | 平成28~32年度 |
| 苗木の配布数 | 1,070本   | 1,100本/毎年 |

### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 本      | 本      | 本      | 本      | 本      | 本      |
| 達成率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



### Information

#### 【こだいらオープンガーデン】

オープンガーデンとは、個人の庭を一定期間一般の人に公開するという活動です。丹精込めた庭や花壇を開放し、訪れた人との交流を深めながら季節の植物を楽しむオープンガーデンは、街やコミュニティに潤いを与えてくれます。市では、小平グリーンロードに代表される自然と潤いのあるまちづくりをめざしています。この一環として平成19年6月から「こだいらオープンガーデン」がスタートし、平成27年3月現在、26か所の登録があります。



出典：小平市グリーンロード推進協議会HP

## 重点プロジェクト⑧

環境政策課

### ノーカーデーの実施

市民・事業者・市  
 ノーカーデーを実践

低炭素社会の実現のために、自動車利用から二酸化炭素排出量の少ない公共交通機関への利用の転換を促進します。市では、「週に一度は乗らないデー」を合言葉に、年間を通して、原則毎週水曜日は、市の業務や職員の通勤時における自動車の使用を抑制するノーカーデーを実施するとともに、市民・事業者にも取組を普及啓発します。特に11月1日から1月31日の期間は、大気中の二酸化窒素の濃度が上昇することもあり、冬期自動車抑制期間を設定し、市報等により、広くノーカーデーの取組の啓発を行うとともに、市の業務等におけるノーカーデーの取組を強化します。

#### 目標値

|                              |          |           |
|------------------------------|----------|-----------|
| 成果指標                         | 平成26年度実績 | 平成28～32年度 |
| 冬期自動車抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数 | 655回     | 前年度比減     |

#### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 回      | 回      | 回      | 回      | 回      | 回      |
| 達成率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |

## 重点プロジェクト⑨

総務課・環境政策課

### 低公害車・低燃費車への買い替え

市民・事業者・市  
 低公害車・低燃費車に買い替え

すべての庁用車は、低公害車及び低燃費車に計画的に買い替えます。また、イベントなどを通して、市民・事業者への低公害車及び低燃費車への買い替えを普及啓発します。

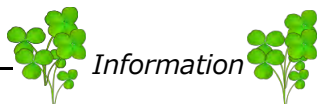
#### 目標値

|                   |          |           |
|-------------------|----------|-----------|
| 成果指標              | 平成26年度実績 | 平成32年度までに |
| 庁用車の低公害車・低燃費車の導入率 | 76%      | 97%       |

※低公害車・低燃費車のうち、3台が電気自動車

#### 実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |
| 進捗率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



Information

【COOL CHOICE】（環境省HPから引用）

「COOL CHOICE」とは、COP21で日本が掲げた平成42（2030）年度の温室効果ガスの排出量を平成25（2013）年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にするという「選択」、高効率な照明に替える、公共交通機関を利用するという「選択」、クールビズをはじめ、低炭素なアクションを実践するというライフスタイルの「選択」などです。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」ロゴマーク



環境学習(講座、講演会等)の充実

市民・事業者  
 環境学習等に参加する

市  
 実施

すべての人が、地球温暖化を自らの問題として捉え、環境に配慮した行動を実践することが何よりも重要です。そのために、市では、環境と私たちの暮らしとの関わりについて身をもって学ぶ機会を充実させます。

環境学習の意義

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題が深刻化する中で、多くのみなさまに環境を大切にする意識を高めていただき、環境に配慮した生活や行動をしていただくことで、社会全体をより持続可能なものへと変えていくため、環境教育の必要性はますます高まっています。

「持続可能な社会」の構築には、社会を構成する個人、家庭、民間団体、事業者、行政等が環境問題への取組を自らの問題としてとらえ、自発的に行動し、お互いの行動を理解し、立場を尊重し、適切な役割分担をしながらそれぞれが主体的に参画することが必要です。

環境問題を考える上で何よりも大切なことは、自らが当事者であり、自らの問題として関わるという意識であり、環境学習は、この意識の醸成のためには大切なものです。



エコダイラネットワーク、小平第四小学校の学習支援地域組織であるナラミスタッフの皆さん、環境政策課が協働で実施した、小平第四小学校での出前授業

目標値

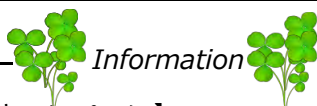
|                    |          |
|--------------------|----------|
| 成果指標               | 平成26年度実績 |
| 環境学習(講座・講演会等)の参加者数 | 1,061人   |



|           |
|-----------|
| 平成28～32年度 |
| 1,100人/毎年 |

実績

| 年度  | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実績値 | 人      | 人      | 人      | 人      | 人      | 人      |
| 達成率 | %      | %      | %      | %      | %      | %      |



Information

【ライトダウンキャンペーン】

～(環境省HPから引用) 環境省では、地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭等の照明を消していただくよう呼び掛ける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を、毎年夏至の日からクールアース・デー(7月7日、七夕)までの期間に実施しています。この取組は、照明を消すことで、地球温暖化問題について考えるきっかけとしていただくことを目的としております。毎年、多くの自治体、企業、団体の皆様に協力・実践いただいております。取組の輪が広がっています。

クールアース・デーとは、天の川を見ながら、地球環境の大切さを日本全体で考え、家庭や職場における取組を推進するための日です。2008年のG8サミット(洞爺湖サミット)が日本で7月7日の七夕の日で開催されたことを契機に、毎年7月7日がクールアース・デーと定められました。～

市においても、ライトダウンキャンペーン期間中の特別実施日である「夏至 ライトダウン」及び「クールアース・デー ライトダウン」を実施し、職員の定時退庁や庁用車の原則使用禁止に取り組んでいます。

また、市民版環境配慮指針「小平流 暮らしの工夫」では、普段使っている照明を消して、ソーラーライトなどで過ごすことが、災害への備えになることを紹介しています。



市民版環境配慮指針「小平流 暮らしの工夫」